

<日商簿記1級工業簿記ミニテスト14>標準原価計算の基礎

<問題>

当社の大阪工場では製品Xを製造し、標準原価計算制度を採用している。次の資料に基づいて、次の各問に答えなさい。

1. 製品X1個あたりの原価標準

直接材料費 @100円×3kg=300円

直接労務費 @500円×2時間=1,000円

製造間接費 各自推算の事

※製造間接費は直接作業時間を配賦基準としており、年間正常直接作業時間は24,000時間、年間予算額は5,760,000円（うち変動費予算額は3,600,000円）である。なお、固定製造間接費は予算と実際額は同額であった。

2. 生産データ

	製品X	
月初仕掛品	300	(50%)
当月投入	800	
合計	1,100	
月末仕掛品	200	(60%)
完成品	900	

()内の数値は加工進捗度を示す。材料はすべて工程の始点で投入されている。

3. 当月の実際原価

直接材料費 : @110×2,500kg=275,000円

直接労務費 : @480×1,820時間=873,600円

変動製造間接費 : 250,000円

問1

差異分析（能率差異は変動費のみから生じる）を行い、結果を解答欄に記入しなさい。

問2

シングルプラン・修正パーシャルプラン・パーシャルプランにより、仕掛品勘定の記入を行いなさい。

(2級の方はシングルプランとパーシャルプランのみ)

問1 (借方差異には△をつけること)

総差異	△51,000
直接材料費 (価格差異)	△25,000
直接材料費 (数量差異)	△10,000
直接労務費 (賃率差異)	36,400
直接労務費 (時間差異)	△40,000
製造間接費 (予算差異)	23,000
製造間接費 (能率差異)	△12,000
製造間接費 (操業度差異)	△23,400

問2 (差異勘定はすべて原価差異と記しなさい)

① シングル・プラン

材 料	仕 掛 品
買掛金	仕掛品
_____	_____
_____	_____
賃 金	
諸 口	仕掛品
_____	_____
_____	_____
製 造 間 接 費	
諸 口	仕掛品
_____	_____
_____	_____

前月繰越 材 料 賃 金 製造間接費	製 品 次月繰越
_____	_____
_____	_____

②パーシャル・プラン

材 料	
買掛金	仕掛品
賃 金	
諸 口	仕掛品
製 造 間 接 費	
諸 口	仕掛品

仕 掛 品	
前月繰越 材 料 賃 金 製造間接費	製 品 次月繰越

③修正パーシャル・プラン

材 料	
買掛金	仕掛品
賃 金	
諸 口	仕掛品
製 造 間 接 費	
諸 口	仕掛品

仕 掛 品	
前月繰越 材 料 賃 金 製造間接費	製 品 次月繰越